

# 潮寿荘だより

渡辺正則

令和3年8月18日発行  
発行：特別養護老人ホーム  
潮寿荘  
記事：8月担当潮寿荘職員  
編集：潮寿荘だより編集委員  
題字：渡辺正則(95歳)

## たなばた



七月七日、潮寿荘でも七夕祭りが行われました。数日前には職員や入居者様の願いを短冊に書き、飾り付けました。ここで願い事を発表します。

ウメ氏「漁師がたくさん魚が捕れますように」  
重和氏「自分は長生き、世界は平和になりますように」  
芳蔵氏「日本酒を飲みたい」  
続いて職員の願い事です  
「もう一度10代の頃のような毛量になりますように」石岡介護士

司会の石岡介護士  
子供役というより  
松〇千春。施設長には  
一休さんと呼ばれる。



昨年引き続き、コロナ禍という事で職員は浴衣を着て、円になっている入居者様の前で順繰りに七夕の歌を元気に歌い、お菓子を袋に入れてもらいました。少しでも子供達のように感じてもらえたら幸いです。まわっている間にヨシエさんとキヨさん(柳)はお腹の中にお菓子の袋を隠し、その後決してお菓子を子供に渡すことはなく自分たちで食べていました。配っているうちに食べたくなりますよ。そのあとは、もらったお菓子の中

### ♪竹-に短冊 七夕祭り♪



### 七夕の飾り作り



みなさんに  
書いてもらった  
書道はこのよ  
うに飾りま

ら皆さんに渡して食べて頂きました。子供達の賑やかな歌声や触れ合いがなかったのは本当に残念でしたが、来年こそは実現できると信じていま

す。子供達、待っています  
(予定がないのに入居者に結婚おめでとうと言われた介護士・小野寺)

今年初めて浴衣を着て潮寿荘の七夕祭りに参加しました。潮寿荘に来て3年経ちましたが、いつも学校の行事があったため七夕祭りに参加できませんでした。今回やっと学校が休みだったので参加する事になりました。とても楽しかったです。今回着せて頂いた浴衣は2年前自分が日本の文化を体験したいため買った服です。そして一回だけ姚さんと一緒に大沼公園の花火大会に行きました。その



### 蘇さんの 七夕



後全然着ませんので置いたまま着る機会がなかなかありません、と思っただとたん、潮寿荘の行事があつて子供の代わりに着せて頂きました。嬉しかったです。浴衣と言えば「侘び寂び(わび・さび)」という日本人の美観があるイメージなので、私は浴衣を着て意識しましたがきつかったです。私の個性は大雑把と見えるので浴衣は似合わないかもしれませんが、入居者に七夕の歌を歌ってお菓子をもらった瞬間、楽しくて、姿勢や歩き方は忘れてしまった。でも入居者も楽しんで笑顔もあつたので、また来年も本当の子供と一緒に参加したいの気持ちが出てきました。  
(1ヶ月の介護実習が終わって疲労困ぱいな介護士・蘇)

# 夏の風物詩『流しそば』

夏になると一週おきに行われる野外食。6月28日は、夏の風物詩の『流しそば』です。そうめんの他に唐揚げもあり、皆さんはそうめんを食べるのに必死になりながら流れてくるそうめんを箸やフォークで笑顔で頑張っていました。



「ミヨさん  
そうめんの流  
れが止まった  
時には「まだ  
く？」という  
声も聞こえま  
したが、みんな楽しそうでした。  
その後、7月12日には『流しラーメン』7月26日には『流しそば』  
全とお天気に恵まれ、快適に流れて  
皆さんのお腹に入っていました。  
この夏最後の『流しそば』は8  
月23日。最後までお天気に恵まれま  
すように。



7/26 流しそば



ツヤさん

## 7/12 流しラーメン



箸使いが上手な方々



## 入居者紹介



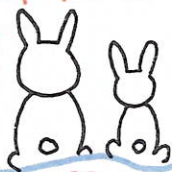
ナミさん

ナミさんは91歳。いつもお部屋で休んでいて、ホールでテレビを見たりすることは殆どありません。あまりお話されない方ですが、水分補給のために伺った時や、朝、昼、夕の食事のための離床の時に話しか

けると返事してくれます。僕はナミさんに「僕のこと好きですか」と聞きます。するとナミさんは「好きだよ。でも私なんかの年寄りばばより若い人に声かけれ」と笑います。ぼくは最近妻ができた事には触れず「それでも僕はナミさんが好きですから！」と断言して二人で笑います。僕は冗談を言った時笑ってくれるナミさんが大好きです。これからも夏バテせず、潮寿荘の栄養たっぷりのご飯をたべて100才、いや、その先まで長生きしてほしいです。(ここ数年お酒が弱くなっていつの間にか帰ってる介護士・斉藤)

## 9月の予定

- 1日 講師来荘花クラブ
- 8日 誕生会
- 9日 特別喫茶(今川焼)
- 15日 講師来荘花クラブ
- 20日 敬老会  
(今年のご利用者職員  
だけでお祝います)
- 21日 十五夜
- 23日 ぼたもちバイキング
- 29日 講師来荘花クラブ



## 大雨 警戒報の夜

それは8月9日の夜11時過ぎだった。スマホから突然大きなアラート音。見ると大雨警戒報だった。部屋から外を見ると確かに大雨が降っていて「ああ普通の台風だな」という感じだった。それから数分も経たず再度アラートが鳴った。アラートは土砂崩れ警戒報で全員避難するようにとの内容だった。場所を確認したら恵山側の地名だった。自宅と潮寿荘のある釜谷から外れていた事にほっと

したが当施設の従業員のの中には恵山に住んでる人もいて心配になった。翌日になり恵山側の状況を聞いてみると、全員避難との指示が出るものの「今外に出たら危ない」とたいていは避難所に行かず家の中に居たそう。高齢者夫婦とかの家には消防かどこかの人が迎えに来て避難所へ連れて行ったという事だった。他にも道路が冠水している所もあると聞きました。もしも自分の住んでいる所だったらと思うと、なかなか怖いな、他人事ではないと思いました。(潮寿荘を辞め実家の横浜に妻と帰ることになった介護士・鈴木雄)

決算報告はこちらのQRコードからご覧下さい。



ご寄付ありがとうございました  
大嶋好洋様  
後藤美矢子様  
佐藤征次様